

第8回 6月16日(木) 13:00～14:30

複数の自分を生きる ～「個人」と「分人」について



平野啓一郎氏

小説家

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

小説家。1975年愛知県蒲都市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている2004年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在した。著書に、小説『空白を満たしなさい』、『マチネの終わりに』、『ある男』、最新作『本心』等、『私とは何か「個人」から「分人」へ』等がある。『空白を満たしなさい』を原作とする連続ドラマが2022年6月25日よりNHKにて放送予定、『ある男』を原作とする映画が2022年秋に公開予定、と映像化が続く。

<担当スタッフより>

「『本当の自分』は存在しない」これを聞いてみなさんはどう感じますか。「個人」よりも小さな単位である「分人」という概念を通して、自分自身を構成する要素について考えてみませんか。この講演が、自分の複雑性や矛盾、個性、さらに、自分が生きやすい「自分の在り方」について考え、「自分」を捉え直す時間になればと思います。